

代表・一般質問

区政を

傍聴してみませんか 区議会本会議は公開しています



せじま 剛
議員

らわれずに、利用しやすくなおかつ開設期間も延長できるような施設のあり方を検討していく。

【問】足立区の観光地といえば、西新井大師が最も有名である。関東の三大大師といわれるものの、大型バスの駐車場がない。そこで、西新井駅西口再開発事業地内に大型バスの駐車場を設置すべきと思うが、どうか。

【答】日清紡跡地開発については、区と都市基盤整備公団との基本協定及び住宅等の整備に関する覚書が締結されており、現在のところ駐車場を設置する計画はない。今後は、西新井駅西口周辺全体のまちづくりの中で大型バスの駐車場確保について検討していく。

【問】第二中学校の跡地利用について金八先生のロケ地で全国的に有名である。この跡地をスタジオとして提供し、撮影場所として使用した機材や写真等を展示する考えはないか。また、撮影時以外は、地元の音楽家や芸術家の活動拠点としたらどうか伺う。

【答】第二中学校の跡地利用については、「公有財産の活用構想」の中で、平成16年度に策定される基本構想や基本計

画との整合を図るため引き続き検討する。また本校は、築43年が経過し、統合が予定されているため、耐震補強工事などが行われていない。よって大規模な補修工事が必要となり、現在の厳しい財政状況の中では、今後発生する学校の改築を行うためにも、第二中学校の持つ価値を見極めたうえで、その活かし方を考えていく。

【問】日光街道西側への回遊を期し、旧足立福祉事務所跡地に運営を民間とする寿劇場(小劇場)の復活は考えられないか。

【答】旧足立福祉事務所跡地については、活用構想で「地域に



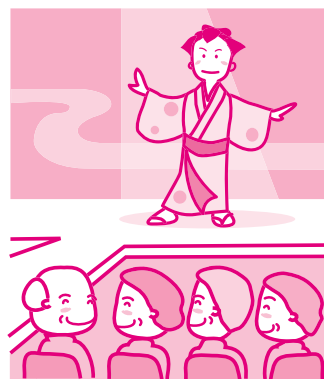
たきがみ 明
議員

足立区議会公明党

平成16年度予算編成について

【問】平成16年度一般会計の総額は、実質マイナス5.3%、112億円の減となっている。今後、数年のうち西新井や新田などの大規模開発や、日暮里・舎人線関連、区画整理事業などの大規模事業の進展あるいは完成期を迎えることで、一時的にも多額の経費が必要になると思われる。それらが持続可能な財政運営と見えた見地から今後の具体的な見直しを示されたい。

【答】包括予算制度の定着化と併せ、複数年度管理による中期的な視野での財政運営の確立が重要であり、現在、具体的な検討を開始したところである。



おける自治・自主活動の拠点となる施設を建設する。あわせて民間を活用した地域活性化に資する施設の建設を検討する。こととしている。

【問】庁内分権をさらに推進せよ

【問】庁内分権を推進するためには、予算と同様に、組織・人事について思いきった取り組みが必要である。組織の再構築を新たな視点で行う必要があるが、今後の予定を示されたい。

【答】各部署が、評価、政策立案、調整、執行等の各段階において効率的で自立度の高い安定した組織を構築する必要がある。新たな分野のアウトソーシング、新たな手法の開発、挑戦など、協働の時代にふさわしい効果的・効果的な定数管理を進め、計画的で適正な採用を行う。職員各人に関する人事上の諸施策に必要な個人別人事情報を計

画的かつ適切に収集し、活用を行っていく。

【問】高齢者向けのトレーニングマシンを使って心身の機能回復を図る「パワーリハビリ」が注目を集めている。厚生労働省も15年度から介護予防事業の一環として取り入れている。予防が進めば、介護保険料の上昇を抑え、高齢者が元気に地域で自立した生活を継続することができ。区としても是非、普及させるべきであると思うが、どうか。また、「介護予防プロジェクト」を結成し、介護予防に努めるべきと思うが、見解を示されたい。

【答】平成16年度より西新井在宅サービスセンターで、区として初めての「パワーリハビリ」を実施する。また、持続可能な介護保険制度にするため、関係各課で連携し介護予防を進めていく。

【問】平成16年度の予算案では、特別養護老人ホーム整備助成で、増床1箇所、用地取得助成1箇所、用地取得費貸付2箇所となっているが、今後の整備計画、実現の見通しを具体的に示されたい。

を開設予定である。さらに17年度下半期の開設に向け、4施設について都と協議を行っていたが、国の補助金削減の影響で、2施設しか採択されない見込みとなっている。

【問】都の教育委員会が、中学2年生を対象に実施した学力定着状況と学習に関する意識調査をどのように分析し、活かして行くのか、見解を示されたい。

【答】都の調査結果を基に学力向上を阻む課題を把握し、「教育活動の改善・充実」や「家庭との連携強化」を図り学力向上に向け努力する。全学年対象の調査は重要なことと考え、学力向上推進会議等で具体的な実施方法を検討していく。

【問】不審者が教室に侵入したと想定した総合防犯訓練が千寿小学校で行われた。教室から安全に児童を避難させる具体的な訓練は教員・児童の防犯意識を高める上でも有効なことである。そこで、小学校全校で訓練を実施すべきと思うが、見解を示されたい。また、不審者の侵入に対する防護盾や刺股を学校に配備する考えはないか伺う。



さかがuchi 征司
議員

する。また防犯用具の配備についても、各学校の実態に合わせて対応が必要と考える。

【問】先般、中央教育審議会は「小・中学校の「新学習指導要領」の一部改正を答申した。これはいわゆる学力低下を懸念して出されたと思うが、教育委員会の見解を伺う。

【答】今回の一部改正では児童・生徒の個に応じた指導の一層の充実を図ることを求めている。「基礎をじっくり学ぶ」「その先の学び」の両方に配慮する学校づくりを推進するため、補充学習や発展的な学習の充実を図っているところである。

【問】「あだちワークセンター」の開設からの実績と課題について伺う。さらに、課題をどのように解決していくのか。PRをどう推進していくのか伺う。また、ヤングジョブスポーツ北千住(YJS北千住)と連携し、若年者対策を充実させ、小・中学校の総合学習において学習できるような、各種職業紹介のためのプログラム、ソフトを配置する考えはないか伺う。

